






第5節 環境に配慮し、行動できる人づくりの推進

今日の環境問題は、私たちの日常生活や通常の事業活動による環境負荷の増大によるものであり、これらを解決していくためには、私たち一人ひとりが、環境保全に関する正しい知識を身に付け、ライフスタイルに取り入れるなど、実践活動につなげていくことが重要です。

本県における環境学習・環境教育の促進は、学校における児童・生徒を対象とした環境教育はもとより、環境学習推進センター等の学習拠点における県民を対象とした様々な講座・指導者派遣等に加え、インターネット等を効果的に活用することにより、子どもから大人まで、すべての県民を対象に取り組むものとしします。

また、環境学習・環境教育の推進に当たっては「持続可能な開発のための教育（ESD）」の視点を取り入れ、環境問題をより広い視野で捉えられる人材や、本県の恵み豊かな自然環境を持続可能なものとして次世代に引き継ぐことのできる人材の育成に努めます。

なお、この第5節を「環境教育等促進法」第8条に規定する「行動計画」として位置付け、具体的な施策を展開します。

多様性 いろいろある	相互性 関わり合っている	有限性 限りがある
		
自然・文化・社会・経済は、多種多様な事物から成り立っています。そうした多様性を尊重するとともに、事物・現象を多面的に見たり考えたりすることが大切です。	自然・文化・社会・経済は、互いに働き掛け合うシステムであり、人もそれらとつながりを持ち、人同士も関わり合っ て相互に作用していることを認識することが大切です。	自然・文化・社会・経済を成り立たせている環境要因や資源は有限であり、それらに支えられた社会発展には限界があることを知るとともに、将来世代のために有効に使用していくことが大切です。
公平性 一人ひとり大切に	連携性 力を合わせて	責任性 責任をもって
		
持続可能な社会の基盤は、一人ひとりの人権や生命が尊重されることです。権利の保障や恩恵の享受は公平である必要があり、地域や世代を超えて保持されることが大切です。	持続可能な社会の構築・維持には、多様な主体の連携・協力が不可欠であり、意見や立場が違っても、適宜順応・調和を図りながら、互いに協力して問題を解決していくことが大切です。	持続可能な社会を構築するためには、一人ひとりが責任と義務を自覚し、望ましい将来像に対する責任あるビジョンを持って、他人任せにせず自ら進んで行動することが大切です。

持続可能な開発のための教育（ESD）の視点

（出典：環境省の「こども環境白書」（2019年）より一部修正して引用）

<現状と課題>

- 環境への負荷が少ない持続可能な社会づくりに向けた、環境学習・環境教育を推進するため、県では、1999（平成 11）年 3 月に策定した「山口県環境学習基本方針¹²⁰」に基づき、環境学習プログラム等の作成・提供、環境学習指導者バンク制度による多彩な学習指導者の登録・派遣に取り組んできたところであり、県内各地域において、それぞれの特性や人材を活かした様々な環境学習・環境教育が進められています。
- 2006（平成 18）年 4 月には、広く県民が環境の保全等に関する幅広い課題について各主体の目的に沿った学習ができるよう、総合的な支援拠点として、山口県セミナーパーク内に「環境学習推進センター」を開設しました。
- こうした中、国において、2011（平成 23）年 6 月に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に改められ、環境保全活動を推進するためには環境教育が重要であるという従来の基本理念に加え、協働した取組の重要性が明記されました。これを踏まえ、本県においても、2013（平成 25）年 10 月に「山口県環境学習基本方針」を「第 3 次山口県環境基本計画」に組み入れ、協働した取組を促進しています。
- 環境問題は、様々な問題と相互に関わりあっていることから、「環境のための教育」から「持続可能な社会の実現のための教育」にまで範囲を広げていくことが重要です。近年、学習指導要領に「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられるなど、ESD の視点に立った環境学習・環境教育が求められています。
- 2020（令和 2）年 3 月には、「環境教育推進計画」の改定を行い、学校における児童・生徒を対象とした環境教育における方針を示すなど、計画的な取組を進めています。
- 持続可能な社会を次世代に引き継ぐためには、環境学習・環境教育を切れ目なく継続していくことが重要です。このため、環境学習指導者の育成や、派遣体制の確保に努めるなど、引き続き、学ぶ機会の提供や、体験できる場の充実・拡大に努めていく必要があります。

¹²⁰ **山口県環境学習基本方針**：本県の環境学習を推進する上での方針です。環境問題について学び、協働して取り組むことは環境保全対策を推進する上で非常に重要な役割を果たすことから、2013（平成 25）年に第 3 次山口県環境基本計画に組み入れ、各種施策の展開と一体的に取り組むこととしています。

<施策展開の方向>

1 環境学習・環境教育の基盤整備
(1) 総合的な取組の推進
(2) 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の推進
(3) 環境にやさしい消費行動の推進
2 幅広い場における環境学習の推進
(1) 幅広い地域・年齢層への学ぶ機会の提供
(2) 自然とのふれあいの場や機会の充実
3 学校における環境教育の推進
(1) 環境教育の基本的な考え方
(2) 学校教育における推進方策

1 環境学習・環境教育の基盤整備

(1) 総合的な取組の推進

- 環境学習・環境教育の全体的な推進に向け、学校教育を含む、地域における様々な取組や、施設との連携、ネットワーク化について、一層の充実を図ります。
- 環境の保全について考え、環境配慮の取組を実践できる人材を育成するため、環境学習・環境教育の機会の充実を図るとともに、指導者の育成に努めます。
- CO₂削減県民運動、3R県民運動や希少野生動植物種の保護など、学校や地域社会において、正しい理解と実践により、自主的な取組が促進されるよう、様々な情報の発信に努めます。
- 各種講座の充実、コーディネート機能の強化、環境学習指導者の確保などにより、環境学習推進センターの更なる利用促進を図るとともに、県民、NPO等民間団体、事業者、大学・研究機関、行政の取組への支援やパートナーシップづくりに努めます。
- 地域や学校での活動を推進するため、効果的な教材の作成や、内容の充実、有効活用に努めるとともに、インターネット等を活用した情報発信・共有に努めます。
- 優れた取組事例を広く周知し、環境学習に積極的に取り組む者の拡大と、県民の環境学習への一層の参加を促進するため、環境学習に貢献した指導者等を表彰します。

(2) 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の推進

- 持続可能な社会を実現するには、環境問題を自らの問題として捉え、かつ、社会や経済の問題と結びつけて考えられる感受性豊かな人材の育成が重要であることから、環境学習・環境教育の場においてESDの視点を取り入れ、県民の環境保全意識の醸成に努めるとともに、持続可能な社会づくりの担い手を育みます。

(3) 環境にやさしい消費行動の推進

- 県民一人ひとりが社会的な課題を認識し、課題解決に向けた消費行動をとることにより、県民の暮らしの豊かさの向上や、県施策の更なる推進につなげるため、エシカル消費¹²¹の促進を図ります。

¹²¹ **エシカル消費**：「倫理的消費」ともいい、フェアトレード商品やエコ商品、リサイクル製品、被災地産品など、人や社会、地球環境のことに配慮して作られたものを積極的に購入又は消費することをいいます。また、太陽光や風力といったクリーンな自然エネルギーの利用も環境への負荷が少ない消費です。

- 市町、関係団体、事業者等と連携したエシカル消費の効果的な啓発活動を展開し、認知度の向上及びエシカル消費に関する取組の充実・拡大を図ります。

2 幅広い場における環境学習の推進

(1) 幅広い地域・年齢層への学ぶ機会の提供

- 日常生活の様々な場面で環境との関わりを認識し、環境保全活動へ積極的に参加する意識の醸成を図るため、多様な主体の連携・協働のもと、親と子の水辺の教室、自然観察会、農山漁村での体験・交流会の開催など、地域の自然や歴史等の特性を活かした環境学習の促進に努めます。
- 多様な環境学習指導者の確保・育成に努めるとともに、図書館、博物館、青少年教育施設等、社会教育施設などについても、目的や対象に応じた適切な活用を図り、環境学習・環境教育のより一層の充実を推進します。
- ICTの活用により、環境に関するイベント情報を効率的に集約・発信できる仕組みづくりや、オンデマンドで環境学習が可能となる体制の確保に努めます。
- 幼少期から、人と環境の関わりについて理解を深め、自ら考え行動する力を育成することが重要であることから「こどもエコクラブ¹²²」や「緑の少年隊」等の活動の促進・支援に努めます。
- 日常生活における環境負荷の低減を図るため、家庭や職場、地域における取組に向けた環境学習の促進に努めます。

(2) 自然とのふれあいの場や機会の充実

- 「きらら浜自然観察公園」、「つのしま自然館」等、自然とのふれあいが体験できる場に関する情報発信などを進め、より実践的な環境学習の機会を提供します。

こうした機会を活用し、山口県の生物多様性の状況について幅広く周知するとともに、希少野生動植物の保護の必要性・重要性について、県民や事業者などの理解を深め、自然環境や生態系に配慮した取組を推進します。

¹²² **こどもエコクラブ**：幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動・学習を目的としたクラブのことで、環境省が、平成7年6月に募集登録を開始して以降、全国的に活動が展開されています。

- 「自然環境整備計画¹²³」に基づき、自然公園施設・中国自然歩道の整備や利用を促進するとともに、自然林の造成、改良、遊歩道・車道の整備等、生活環境保全林の整備に努めます。また、人と自然とのふれあいを通じた自然体験活動等の充実を図ります。
- 「県民参加による森林づくり」を定着・発展させるため、将来、地域の森林・林業の担い手となる小中学生を対象とした「森林体験学習」を実施し、森林資源の利活用や森林整備の必要性など、森林への理解促進に努めます。
- 「環境教育等促進法」に基づく、自然体験活動等の「体験の機会のある場」の認定制度について、県民やNPO等民間団体等の環境保全への関心を高めるため、土地又は建物の所有者等への周知を図り、事業者の認定取得を促進します。

3 学校における環境教育の推進

(1) 環境教育の基本的な考え方

- 環境教育は、時代の進展に対応し取り組むべき教育の一つとして重要です。本県においては、児童・生徒の環境問題への関心を一層高め、環境保全活動に主体的に取り組む態度を育成するために策定した「環境教育推進計画」（2020（令和2）年3月改定）に基づき、発達の段階に応じた体系的な環境教育の推進に取り組めます。
- 特に、自然とのふれあいや環境保全活動をはじめとした体験的な活動を重視するとともに、地域社会と連携した取組の促進に努めます。
- 環境教育においては、科学、社会、経済、モラルなど極めて広範囲の内容を関連付けて取り扱う必要があることから、小・中・高等学校等における各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、特別活動及び総合的な学習の時間（総合的な探究の時間）の中で有機的な関わりをもたせて、学校における教育活動全体を通じた環境教育の推進に努めます。

¹²³ 自然環境整備計画：自然とのふれあいの推進及び自然環境の保全・再生を図るための地域の目標を明らかにし、自然公園等における施設整備の方針等を示すことにより、目標を達成するための事業を重点的かつ計画的に実施するために、県が作成する計画です。

(2) 学校教育における推進方策

- 環境問題やエネルギー・資源の問題についての正しい理解を深め、主体的な行動がとれる児童・生徒を育成することが重要であることから、「やまぐちエコリーダースクール¹²⁴」認証制度を推進します。
- 本県では、学校・家庭・地域が目標やビジョンを共有し、一体となって、子どもたちの豊かな学びや育ちを実現していく仕組みである「コミュニティ・スクール¹²⁵」を、すべての公立小・中・高等学校・特別支援学校等に導入しています。こうした仕組みを生かすことで、学校で児童・生徒が学んだ環境教育の学習内容が、家庭や地域において積極的に活用されたり、相互で培う学びが実感を伴ったものに深化したりして、持続可能な社会づくりを担う実践力のある児童・生徒の育成につながるよう努めます。
- 学校施設においても、環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設づくりが求められており、太陽光発電、省資源・省エネルギー、木材利用などを取り入れた、環境を考慮した学校施設（エコスクール）の整備を推進します。
- 環境教育のねらいや体験活動の意義を踏まえ、学年等に応じ、すべての児童・生徒が豊かな体験活動の機会を得られるようにすることが重要であるため、自然体験活動や農林水産業体験活動などの「体験活動」を重視した指導や教材作成に努めます。

<環境指標>

環境指標	現状値 [基準年度]	目標値 [目標年度]
環境学習指導者バンク登録者数	170 人 [2019(R1)]	200 人 [2030(R12)]
環境学習参加者数	74,581 人/年 (2012-2019 平均) (H24-R1)	85,000 人/年 [2030(R12)]
こどもエコクラブ数（累計）	1,165 団体 [2019(R1)]	1,300 団体 [2030(R12)]

¹²⁴ **やまぐちエコリーダースクール**：環境ISOの手法を活用した学校版環境ISOのことです。環境問題やエネルギー・資源の問題について正しい理解を深め、主体的な行動がとれる児童・生徒を育成することを目的としています。

¹²⁵ **コミュニティ・スクール**：学校運営協議会が設置されている学校のこと。学校の課題解決に向けて保護者や地域住民が学校運営に参画し、学校・家庭・地域が連携・協働しながら子どもたちの豊かな学びや成長を支えていく取組が行われています。